令和６年度 通学路の合同点検による対策一覧

【対策検討メンバー】

鰺ヶ沢町教育委員会学校教育課、学校、町建設水道課、鰺ケ沢警察署、西北地域県民局鰺ヶ沢道路河川事業所

【舞戸小学校】

No.	箇所名・場所	通学路の状況・危険箇所の内容	対策内容	事業主体
1	国道101号線（鳴戸）の五差路	変則的な上、交通量が多い交差点であるため、横断する際は細心の注意が必要となっている。	令和6年4月から11月にかけて見守り隊が実施されており、地域と連携した交通安全と併せて、児童へ指導している。 除雪によって盛られる雪による交差点の視界不良については、町から除雪事業者に指導し、積雪状況にもよるが可能な限り対応。	学校 町建設水道課
2	坂本の坂～坂本踏切	道路幅員が狭い上に勾配のある坂のため、特に冬期間中は背面通行中の車に注意が必要。	児童には、車も通行する道路であることを強く意識させ、走らないよう指導している。 歩道をカラー舗装しているが、積雪の際は見えづらい。融雪剤を散布する。 道路拡幅については、住宅も密集していることから難しい。	学校 町建設水道課
3	JA～踏切～舞小北門	道路幅員が狭いため、対面・背面通行中の車に注意が必要。	当該区間に対して、毎年4月に1･2年生への歩き方指導を実施。1学年2年間の指導を徹底している。 一部区間は道路拡幅工事を実施したため、改善された。歩道設置については順次実施中。	学校 町建設水道課
4	マックスバリュー前 横断歩道	交通量が多く、スピードを出す車も多いため、横断する際は細心の注意が必要となっている。	舞戸小学校前で横断するよう指導している。 交通量が多いことから、館側歩道の除雪を実施し、歩行できるようにしている。	学校 町建設水道課
5	マエダストア前 横断歩道（信号なし）	横断歩道に信号がないため、児童が車と接触しそうになった事案あり。	児童には左右の車を必ず確認し、停車するまで横断しないよう指導している。 R6中に取締り実施。本来は横断者優先。意思疎通のため、運転手の顔を見るように指導をお願いしたい。 警察で過去にラバーポール設置や樹木の切除などを実施。 信号は急坂の場合、設置基準が厳しいため難しい。車同士の事故もあるが、原因は主に渋滞である。 坂道部分に融雪剤を撒いている。	学校 警察 道路河川事業所

凡例

（白）	→対策実施中の箇所
（灰色）	→対策完了箇所
（橙色）	→対策予定箇所